

### みずほCustomer Desk Report 2017/04/04号 (As of 2017/04/03)

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	111.26
TKY 9:00AM	111.27	1.0669	118.73	1.0024	GBP/USD	1.2542
SYD-NY High	111.59	1.0681	119.05	1.0037	AUD/USD	0.7629
SYD-NY Low	110.86	1.0643	118.14	1.0009		1.2466
NY 5:00 PM	110.91	1.0670	118.36	1.0014		1.2484
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		8.8/9.2	△25RR	1.035	Yen Call Over	

	NY DOW	NASDAQ	S&P	日経平均	TOPIX	ソコ日経先物	ロンドンFT	DAX	ハンセン指数	上海総合	債券市場	為替市況	商品市況
	20,650.21	▲13.01	5,894.68	▲17.06	2,358.84	▲3.88	18,983.23	73.97	1,517.03	4.43	日本2年債	-0.1600	2.6bp
											日本10年債	0.0750	0.5bp
											米国2年債	1.2261	▲2.8bp
											米国5年債	1.8519	▲6.9bp
											米国10年債	2.3193	▲6.8bp
											独10年債	0.2770	▲5.1bp
											英10年債	1.0640	▲7.5bp
											豪10年債	2.6740	▲2.7bp
											USD/CNH	6.8747	0.0032
											ドルインデックス	100.54	0.19
											CRB指数	184.525	▲1.36
											NY金	1,254.00	2.80
											WTI	50.24	▲0.36
											Dubai Spot	51.72	0.70

#### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月3日	08:50	日銀短観	第1Q	-
	17:00	マークイット製造業PMI(確報値)	3月	56.2
	18:00	PPI(前月比/前年比)	2月	0.0%/4.5%
	18:00	失業率	2月	9.5%
	23:00	ISM製造業景況指数	3月	57.2
	23:30	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁講演	-	-
	04:00	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-
	06:00	ラッカー・リッチモンド連銀総裁講演	-	-

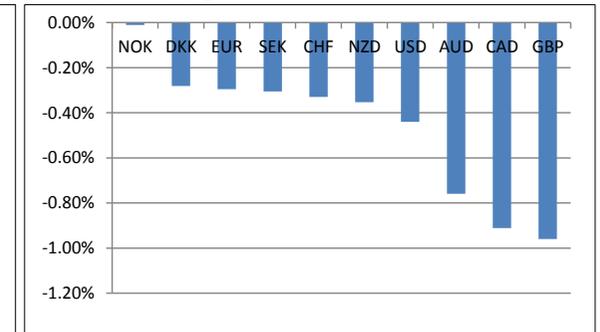
#### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月4日	13:30	RBAキャッシュレイト	-	1.50%
	18:00	小売売上高(前月比/前年比)	2月	0.5%/1.0%
	21:30	貿易収支	2月	-44.6B
	23:00	耐久財受注・確報値(前月比)	2月	1.7%
	23:00	耐久財受注(除輸送用機器)・確報値(前月比)	2月	-
	23:00	製造業受注指数	2月	1.0%
	05:30	ターロー・FRB理事講演	-	-

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【マーケット・インプレッション】

#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.30-111.30	1.0620-1.0720	117.70-118.70

#### 【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落。欧州時間にロシアのサンクトペテルブルクの地下鉄爆発事件を受け、ドル円は一時111.25の安値を付けた。その後、ISMが発表した3月の製造業景況指数が前月比弱い結果となったことを背景に米国債利回りが低下し、ドル円はじりじりと110円台の後半まで下落。しかし、雇用指数が伸びており、全体の統計も依然として高水準を維持することで、ドル円の下げ幅は限定的。ニューヨーク時間に目新しい材料の乏しい中、ドル円は110.80台から111.00台の間で揉み合い。本日のドル円相場は、明日発表されるFOMC議事要旨を控える中、米金利の伸び悩みや弱めの経済指標を背景にドル円は上値の重い展開に推移するものと予想。

東京	朝方発表された日銀短観では、注目の大企業製造業景況感が2期連続で改善した一方で3ヵ月後の先行きについては悪化する結果となり、市場の反応は限定的。東京時間のドル円は111.27レベルでオープン。日経平均が前日比マイナス圏に一時下落するとドル円も連られる展開から111.13まで軟化。その後、本邦実需勢によるドル買い円売りの動きが散見される中でドル円は下げ幅を縮小、引けにかけては、日経平均が19,000円台を回復する展開にドル円は一時111.54まで上昇し、結局111.50レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.50レベルでオープン。特段目立った材料が無い中、米トランプ大統領が、先週末に米貿易赤字の原因調査と通商規定を乱用する国々への対策を指示する大統領令に署名したこと等を背景にドル円の上値を抑えられた様子。ロシアはサンクトペテルブルクの地下鉄にて爆発が発生したとのヘッドラインに先行して意識される展開からドル円は下落する場面も見られたが、その後は下げ幅を回復して結局111.40レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.2540レベルでオープン。英3月製造業PMIは54.2(予想55.0)と、下方修正された2月の54.5から低下し、4ヵ月ぶりの低水準となる結果になると、ロンドンドルは1.2485まで下落。1.2498レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0671レベルでオープン。アイルランド財務相がアイルランドクローナへのユーロペッグを示唆したとする週末の英紙報道に対し、同国首相が否定したこと等が意識され、ユーロはやや売り優勢地合い。独3月製造業PMI改定値は58.3と速報値と一致し、EU2月生産者物価指数も前月比変わらずであったため、材料視されなかった。結局ユーロドルは1.0655レベルでNYに渡った。(ロンドントルフリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は111円台前半で方向感の欠く推移となり、111.40レベルでNYオープン。朝方発表された米3月ISM製造業景況指数はコンセンサス通りの結果となり、市場の反応は限定的。なお、雇用項目が58.9と前月54.2から大幅に改善し、2011年6月以来の高水準を記録している。しかしその後、米長期金利の低下を背景にドル円は東京時間の安値の111.13を下回ると111円付近のストップを巻き込みながら安値110.86まで下落。その後、米最大のシアラ油田の操縦再開とのヘッドラインを受けた原油供給過剰懸念を背景とした原油価格の下落や、米3月自動車販売統計が予想よりも弱い内容などが嫌気され、米株の軟調推移も相俟って、ドル円は110.90付近で上値重く推移し、110.91レベルでクロスした。日中に行われたダドリー・NY連銀総裁(2017年投票権あり)の講演では金融政策について目新しい発言はみられなかった。ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁(2017年投票権あり)からは「現時点では次回会合で利上げをすることは難しい」との発言が出たが、市場への影響は限定的となった。一方ユーロドルは1.0655レベルでNYオープン。特段ヘッドラインの見当たらない中で1.0643まで下落する場面もあったが、その後は米金利の低下を受けてドル売りユーロ買いが強まり、1.0676まで値を戻し、1.0670レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:チャイ・鶴田